

テキストエディタの応用

1. テキストエディタ

1.1 テキストエディタとその特徴

テキストエディタと総称されるソフトウェアは Windows に始めから入っている「メモ帳」のようなものであるが、一般にそれよりもはるかに多機能である。ワープロソフトと異なり、文字の書体を使い分けたり画像を加えたりといったことはできないが、テキストを始めとする文字データの編集や加工の処理を快適に行うことができる。

1.2 秀丸エディタ

Windows 上で作動する日本語のテキストエディタとして最も人気があり広く使われているのは「秀丸エディタ」である^(注1)。本章では、高機能な秀丸エディタを使って日本語研究や日常生活におけるさまざまなデータ処理をどのように合理化することができるかを述べる。

本題に進む前に、テキストエディタとほかのソフトウェアの関係について一言しておく。もし秀丸エディタの使用にこだわり、その機能を極限まで生かすとすれば、相当複雑なデータ処理でも秀丸エディタで実現することができる。しかし、それは合理的な考えではない。テキストエディタがありとあらゆるデータ処理に適しているわけではないからである。データ処理の内容によっては、専用のソフトウェアや Excel を使ったり、Perl や Ruby でプログラミングしたりして処理するほうがよほど効率がよい。バッチファイルで

簡単に処理できる課題もある。本章は、テキストエディタで原稿を書いたりデータを扱ったりするときに必要となる作業のうち知的でない部分をいかにして自動化するかという点に重点を置く。時間と手間を要するばかりか神経まで消耗する単純作業を減らすことができれば精神衛生上も好ましく、その分仕事の創造的な面に力を注げることになる。

1.3 秀丸エディタの設定変更

秀丸エディタは、ほかの多くの高機能なソフトウェアと同様、使用者の都合と好みに合わせてさまざまに設定を変更して使うことができる。設定の変更の多くは、メニューの「その他」から「ファイルタイプ別の設定」か「動作環境」を選んで行う。ときどき設定画面を開いて、これはと思う項目があれば変更を試し、自分の感覚によりよく合う状態を作り上げていくとよい。

なお、本章に示す画面例の作成は、インストール直後の状態から次の2点について設定を変更したうえでやっている。

- 空白とタブ文字を表示する（その存在を明示するため）。
- 行番号を表示しない（本章の例の限りでは不要で目障りなため）。

これらの変更はいずれも単なる例示上の都合によるもので、処理内容には関わらないので、本章の内容を試す際にそのように設定する必要は特にない。また、紙面の節約のため、秀丸エディタのウィンドウは事例ごとにサイズを適宜調整した状態で示す。

1.4 本章の構成

本章においては、秀丸エディタの応用的な利用の可能性を3つの段階に分けて述べる。

まず、2節では秀丸エディタの基本機能を生かすことで、どのような処理を意外に簡単に実現することができるかを紹介する。主眼は、3節以下でも同様であるが、具体的な事例そのものよりも、エディタの機能を利用して作業を合理化する考え方や、その過程で出会う各種の問題への対処法にある。

3節と4節では秀丸エディタの「マクロ」の機能を取り上げる。3節では、「キー操作の記録」と「キー操作の再生」の機能を用いることにより、同じ処理を手軽に反復実行する方法について述べる。これは他のソフトウェアではしばしば“キーボードマクロ”と呼ばれる機能で、同一の単独ないし一連の処理を容易かつ正確に反復することができる。ただし、手軽である反面、キー操作の記録はそのうち消えてしまう——正確に言えば、別のキー操作を記録すると前の記録が消える——のと、マクロの機能がすべてキー操作の記録で利用できるわけではないという2点において制約がある。

4節では、マクロを手作業で作成することによってより複雑な処理を楽に行う方法を説明する。この方法で作ったマクロはディスク上にファイルとして保存するのでいつでも呼び出して繰り返し使うことができる。また、キー操作の記録と再生では実現できない処理も可能になる。この方法は一般に“マクロプログラミング”と呼ばれる。プログラミングと言うと複雑で難解という印象があるかも知れないが——実際、その気になれば秀丸エディタのマクロで複雑で難解なプログラミングをすることも可能であるが——、秀丸エディタのマクロプログラミングの基礎はごく簡単で、方法を知った瞬間から実用的なマクロを書けるようになってと言っても過言ではない。必要な予備知識は何もない。せいぜい、copyとかsearchといった英単語は知っていたほうが話を理解・記憶しやすいという程度のことである。

なお、秀丸エディタによる文字列の検索や置換の方法については本講座の第2巻第3章に説明がある。また、秀丸エディタを含む各種のソフトウェアで便利に使える正規表現および正規表現を理解するうえで必要となる文字コードの知識については本巻末の「付録 正規表現・文字コード」で解説している。あわせてご覧いただきたい。

2. 秀丸エディタの基本機能の応用

秀丸エディタは多機能なテキストエディタであるが、ここでは文字データの処理上特に重宝する、文字列の検索、文字列の置換、データのソート（並